



# 農業者の立場から松浦を盛り上げたい

松浦青年農業者会会員の山崎誠也さんが、「婚活inまつうら実行委員会」のスタッフとして婚活イベントを盛り上げながら、松浦の農業の魅力発信と農家のお嫁さん確保に奮闘中。

## Interview 山崎 誠也さん 松浦青年農業者会会員

農業に従事する市内の若手農業者が集まり、農業技術の向上や後継者づくりを目指してさまざまな取り組みをしている松浦青年農業者会。そのメンバーの一人である山崎誠也さんが、「婚活inまつうら実行委員会」のスタッフとして農業者の立場から松浦を盛り上げようと奮闘中です。山崎さんは、この活動と成果を東北地区青年農業者連絡協議会プロジェクト&意見発表大会（1月20日、サンパーク吉井で開催）で発表し、見事！最優秀賞に輝きました。また2月2日、長崎市で開催された長崎県青年農業者会議（ナガサキ・アグリネット・フォーラム）でも特別賞を受賞。今回、農業者の視点から「婚活inまつうら実行委員会」の活動に対する思いを語っていただきました。

この人に  
**CLOSE UP!**  
まつうら  
**輝人**キラリ

**Q** 山崎さんは青年農業者会としてもさまざまな取り組みをされていますが、「婚活inまつうら実行委員会」のスタッフとしても活動されていますよね。

**A** 青年農業者会では、小学生に対しての食育活動や、地元の酒屋さんと協力して松浦ブランドの焼酎を作った焼酎プロジェクト、松浦に点在する直売所と協力し地元の野菜を学校給食に取り入れた直売ネットワークへの参加など、松浦を盛り上げたいと取り組んできました。しかし、これらの取り組みをする中で、いつも「人が少ない」という問題にぶつかっていました。もともと農業を生かし、農業を利用し、農業に携わっているからこそできることはないか。そんなことを考えているときに青年農業者会へ「婚活inまつうら実行委員会」からスタッフ

依頼の話がありました。魅力ある農業を伝え、農家の嫁不足解消へもつながる。「これだ！」と思いましたね。  
**Q** 同委員会の活動の中で、その手応えは感じていますか。

**A** イチゴ狩りなどの農業体験を婚活イベントに取り入れ、体験を通して収穫などの喜びを伝えることができていると思います。また、イベントを重ねることにカップルが成立したり、このことがきっかけで結婚するという話を聞いたりすると、手応えを感じますね。  
**Q** 同委員会での活動を通じて感じていることは何ですか。

**A** 異業種の方とも連携し、それぞれの得意分野を持ち寄り協力し合えば、これまでできなかったことができる。「人」としてつながっていけば松浦全体が盛り上がっていくということに強く感じています。また今回、その活動内容や成果などを発表する機会をいただいて評価いただいたことは大変うれしく、励みになりました。今後も農業の魅力発信と市内独身男性のお嫁さん確保に向け積極的に取り組みたいですね。



◎ PROFILE

山崎 誠也さん（星鹿・牟田、32）  
農業を営む。趣味はバドミントン。現在バドミントンサークル「アクロバットスターズ」のリーダー。

## Fishing in Matsuura 一松浦での魚釣りー



アンドリュー・マイケセル

Andrew Mikesell

アメリカ出身

私の趣味のひとつは釣りです。4歳の時から、父と一緒に釣りを始めました。それから釣りをとても楽しむようになりました。しかし、私の出身地であるユタ州は内地で海がありません。ですから、松浦に来る前は川と湖でしか釣りをしたことがありませんでした。海の近くに住むことになり、海で釣りができることが分かったときはとてもうれしくなりました。

私は昨年8月に松浦市に来てから、すぐに釣竿を買いました。そして、毎週末釣りに行くことを始めました。私は釣りをすることによってリラックスすることができます。そして、同時にワクワクすることができるので、ストレス発散にはぴったりです。うきが水の中に沈むの見える時が一番興奮する瞬間です。

今まで、いろいろな魚が釣れてとてもおもしろかったです。今までに釣れた魚はクロ、アラカブ、アジ、イワシ、サヨリ、ボラ、メバルです。1月には、初めてタコを釣ってびっくりしたり、大きなアラカブを釣って味噌汁を作って食べたりしました。とてもおいしかったです。

今まで5回、イカ釣りにも行きましたが、まだ一度も釣れていません。

松浦での釣りはユタとは違い、いろいろな方法で魚を釣ることができるので、海での釣りが大好きになりました。



国際教育・活動支援員

フィオナ・マニング先生の 国際コーナー

○問合せ先 生涯学習課 ☎内線 343

Eメール: manning.f@city.matsuura.lg.jp

### 国境を超えて

松浦市はオーストラリアにあるマッカイ市と姉妹都市だということをご存知と思いますが、松浦市民にとって姉妹都市関係のメリットはいったい何でしょうか？

簡単にいうと、個人のメリットは個人次第なのです。

姉妹都市の交流活動に参加したら、マッカイ市訪問ができます。マッカイ市民を自分の家に受け入れることもできます。それだけですか？

古賀昌男<sup>まさお</sup>さんと曜子<sup>てるこ</sup>さん夫妻に尋ねたら、「マッカイ市の関係のおかげでオーストラリアに家族ができた」と返事がきました。写真に写っているマッカイ出身のトニー・マクニールさんは4回も古賀家に滞在したそうです。4回のうち2回は姉妹都市の訪問団とは別に個人で企画したものでした。「周りの友達の協力のおかげでトニーさんに松浦を楽しんでもらえました」と曜子さんは話してくれました。

昌男さんと曜子さんは英語が得意な方ではありません

んが、2人とも積極的に「コミュニケーションを取りましょう！」という性格で、ジェスチャーや気持ちだけで、楽しそうに食事をしていました。「定年になったら、しばらくマッカイに行こうかな」と昌男さんが話をしていました。

皆さんも、オーストラリアという定年がない国で生活を経験したいと思いませんか？

炭鉱ブームになって、景気のいいマッカイ市から元気なパワーをもらいましょう！！

